

フィンドレー大学 文化政策学部国際文化学科 3年生 田口実里

ついに私も報告書を書く側になったのか、と去年報告書を読んでいた自分を思い出して留学に来ていることをじんわりと実感しています。協定校とあるけれど留学準備は、ほぼ自己開拓と変わらないくらい9割自分たちで調べて進める必要がありました。留学準備はとても大変で精神的にもきついで、今後留学を考えている人は、ぜひ友達や経験者の人に相談しながら進めて欲しいです。

そして8月5日、約12時間かけてアメリカに初上陸しました。ホテルに一泊し翌日空港に戻って、大学への送迎バスを待ちました。が、送迎バスが何時にどこに来るのか全くわからず、去年留学した先輩が大学先へ連絡を取ってくださり、無事大学のシェアハウスに着きました。友達や助けてくれる人がいてくれて本っ当によかったと痛感した超怒涛の2日間でした。8月7日から1週間は朝から晩まで土日も毎日休みなくオリエンテーションがありました。初日のオリエンテーションで初めて、他大学の日本人留学生や外国人の学生に出会いました。その中には、「去年いた〇〇の友達！？はじめまして！」と仲良くなった外国人の友達も多く、今では餃子を一緒に作って食べたり、サンドバレーに同じチームで参加したり、雑談をしたりなど、とても楽しく充実した日々を送れています。これは関わってくれている現地の学生がとても優しいことと、去年の留学生の人たちが彼らと良い関係を築いてくれたからだなあと日々感謝しています。

14日から授業が始まりました。オリエンテーション期間内に受けた英語のテストでクラス分けされ、わたしは Intermediate のクラスになりました。わかりやすい英語、そこまで難しくない教材なので授業に全く追いつけないということは今のところありません。課題も多くなく、9時から始まって、遅くても14時には全部の授業が終わります。そのあとはAMUという文芸大のラウンジみたいなどころに行って課題を終わらせたり、友達と雑談したりしています。また、Choir（コーラス）の授業も取っていて週2で約90分授業があります。先生も学生もみんな優しいし、なにより歌うことが好きなので取ってよかったなと思っています。11月にコンサートも控えているので、それがすごく楽しみです。

フィンドレーには日本のアニメや漫画が好きな学生が多く、そのつながりで仲良くなった人もいます。日本のアニメや洋画を夜に大学で一緒に見たり、学内ですれ違ったときには「Hi!!」と挨拶したり、どこかに一緒に出かけたり、冗談を言い合える仲になれたりしたことがとても嬉しいです。その反面、人間関係で悩むことももちろんあります。まだまだ自分の言いたいことを英語で伝えるのは難しいけれど、そんな中でも英語を使って多国籍の人たちと意思疎通できているのが本当に幸せで、少しずつ成長できているなと感じます。9月も自分のペースで目標を決めながら、コツコツがんばっていきたいと思います。

